



いのちのかたち

初めて竹に触れたとき

私は、竹の切り倒し方や割り方を自分が知っていることに気がついた。

考えるより先に手が動いて、竹を割っていった。

それだけ竹が私たちにとって身近ということだろうか？

自分の一生を超えて伝わる記憶というものがあるのだろうか？

導かれるように 竹から「かたち」が生まれた。

以来、私はヤブに分け入り、竹を切り、割って、曲げて・・・

それは、私が「かたち」を作るというよりも、

私は竹の中に初めからある「かたち」を取り出し、

それを組み合わせていると言ったほうが正しいかも知れない。

竹に操られるように私は走り回り、

その「かたち」は、私の想像を超え、

つながり、絡まり、とどまることなく広がっていく。

私に与えられた、竹で作るという仕事にきっと終わりは無い。

竹アート 三橋 玄

www.bambookingdom.net

